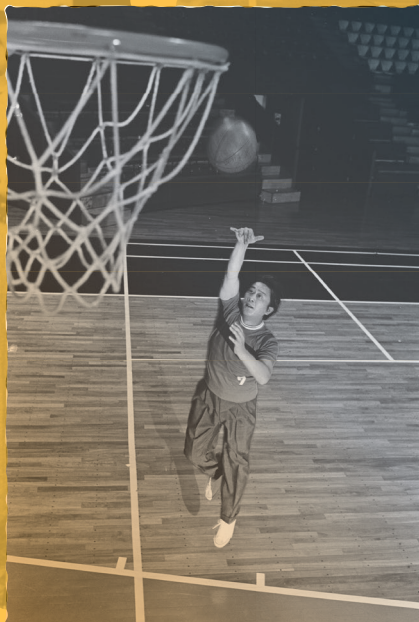


特別展

ゴルフをする石坂洋次郎とうら夫人

撮影：芳賀日出男



バスケットボールをする三浦哲郎

写真提供：文藝春秋



野球をする寺山修司

あおもりの 文学とスポーツ

令和8年
7月18日(土)
11月1日(日)

休館日

7月23日(木)・8月27日(木)
9月10日(木)・9月24日(木)
10月22日(木)

特別展「あもりの文学とスポーツ」は青の煌めきあもり国スポ・障スポ文化プログラム事業です

2026
AOMORI
文化プログラム

— あもり文学ゼミ —

職員が特別展の内容について詳しく解説します。

8月9日(日) 14:00～15:30

青森県立図書館4階 研修室にて

【参加無料・予約不要】

青森県近代文学館

9:00～17:00
入館無料

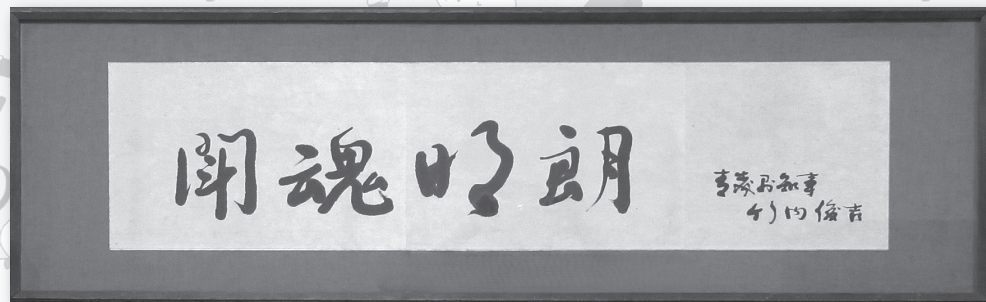
〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7 (青森県立図書館2階)

TEL: 017-739-2575 <https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/bungakukan/>



競技者として、あるいは観戦者としてスポーツに熱中した青森の作家は多く、
スポーツを題材にした文学作品やエピソードが数多く存在しています。

この展示では、青森の作家とスポーツにまつわる様々な資料と共に、文学と
スポーツの交わりについて紹介します！



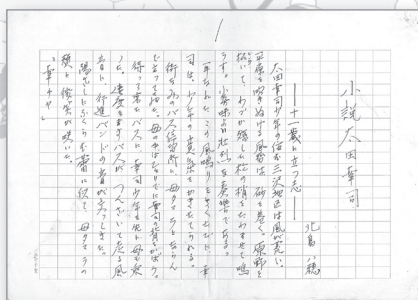
竹内俊吉 書額
「闘魂明朗」

青森県高等学校総合体育大会では男女それぞれの総合優勝校に「闘魂旗」「明朗旗」
が授与されます。昭和53年から平成13年まで使用された2つの旗には、「文人知事」と
呼ばれた竹内俊吉が揮毫した、この「闘魂」「明朗」の文字が使用されていました。



竹内俊吉 識語入り絵皿
「姿勢は低く」

若い頃は自らも相撲を取った竹内俊吉は
大の相撲好きで、「相撲王国」と呼ばれる
青森から出た力士達と親交がありました。



北畠八穂 原稿
「小説 太田幸司」

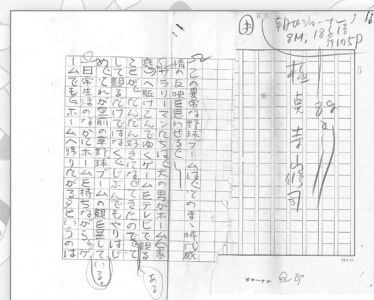
昭和44年夏の甲子園、三沢高校準優勝。
作家・北畠八穂は郷里の高校生の活躍に
心打たれ、太田投手の評伝を書きました。



サトウハチロー 記念館蔵

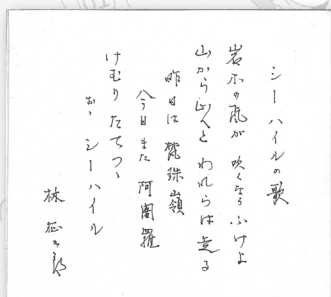
サトウハチロー愛用の
キャッチャーマスク

大の野球好きで、野球詩人とも呼ばれた
サトウハチロー愛用のマスクです。上部に
は小さく「ユートピア」と書かれています。



寺山修司 原稿
「野球中年の憂鬱」

かつての野球少年・寺山修司が、昭和50年
代の野球ブームの最中に、「ホーム」という
概念を軸に時代や価値観等を論じています。



林桓次郎 色紙
「シーハイルの歌」

五所川原農学校スキー部の監督を務めた
歌人・林桓次郎が作った「シーハイルの歌」
は、全国のスキーヤーに愛唱されました。



北村益 演武映像
「尚武 神道無念流居合」

神道無念流居合の免許皆伝だった北村益
の演武映像です。息子の劇作家・脚本家の
北村小松が撮影した可能性があります。



寺山修司 台本
「ボクサー」

「あしたのジョー」の主題歌も作詞した寺山
修司は、映画「ボクサー」など、ボクシングを
題材とした様々な作品を生み出しました。

あおもり文学ゼミ

令和8年8月9日(日) 14:00~15:30

青森県立図書館4階 研修室 ※参加無料・予約不要

特別展「あおもりの文学とスポーツ」の内容を職員が詳しく解説します。

参加者全員に
クリアファイルを
プレゼントします！